



The page contains several text boxes and illustrations:

- A large central illustration shows a tree with a person standing next to it. The tree has text boxes on its trunk and branches.
 - Top left: 子どもの成長の
「木」の象徴
 - Top right: おもなで作ってみた
とんでもない
 - Middle: パラフリオウヒヒに、
どんぐりの絵がどこ?
- Left side:
 - キーワード検索ボックス: キーワード検索
 - Text box: 地域や団体の取り組み(事業)を検索・登録できるデータベースです。
 - Text box: 動画・雑誌
 - Text box: キーワード検索ボックス
 - Text box: 楽曲検索
- Bottom right:
 - Small image of a person sitting at a desk.
 - Text: お問い合わせ
お問い合わせ

僕やか親子21 購り組みのデータベース
使い方ガイド

トヨコベニシの「音録・修正」本名・タケヒコ(たけかず)

The screenshot shows a map of Japan with several colored lines representing train routes. The lines are color-coded: red, blue, green, yellow, and purple. Various Japanese station names are labeled along these routes. A large oval highlights a specific area in the central part of the country. A legend box is overlaid on the map, containing the following information:

- 電車 情報のormanを
- 地図上に表示される駅名を表示する。操作でデータベースです。
- 地図上に表示される駅名を表示する。操作でデータベースです。
- 地図上に表示される駅名を表示する。操作でデータベースです。
- 地図上に表示される駅名を表示する。操作でデータベースです。

Below the legend, there is a section titled "電車 情報のormanを" with the number "719" next to it. To the right of the map, there is a vertical column of text:

電車 情報のormanを
地図上に表示される駅名を表示する。操作でデータベースです。
地図上に表示される駅名を表示する。操作でデータベースです。
地図上に表示される駅名を表示する。操作でデータベースです。
地図上に表示される駅名を表示する。操作でデータベースです。
地図上に表示される駅名を表示する。操作でデータベースです。

At the bottom right, there is a small icon of a train and the number "120".

2 群道府道と固体区分表(新規)

3. 固体情報の登録画面になります。 詳細に従い、入力をしてください。
入力が終われば、「次へ」をクリックしてください。

4. 事業情報の登録画面になります。同様に入力していくください。

1ページ上部へ移動

以下は登録公開内容の一覧です(掲載内容はサンプル)

団体名	○○県 * * 保健所		
住所	○○県○○市 * * 町 1-2-3		
電話・FAX	(TEL) 012-345-6789 (FAX) 987-654-3210		
E-Mail	hogehoge@hogehope.jp		
ホームページ	http://rhino.yamanashi-med.ac.jp/sukiyaka/		
人口	480,000 人		
出生数	4,000 人		
母子保健担当者	保健師		
金保健師数	21 人		
母子保健担当保健師数	2 人		
区分	都道府県保健所		
事業名	薬物乱用対策～地域における予防・相談・援助のトータルプランの実現を目指して～		
事業課題	思春期の保健対策の強化と健康教育の推進		
事業の背景	1 薬物問題は「第3次覚醒剤乱用期といわれており、青少年の拡大があげられている。 2 薬物問題には、予防対策と乱用者対策の双方からアプローチが必要であり、その対策の体系はできていない。 3 薬物問題はその対応の際、司法・保健・医療など多方面からのアプローチが必要であるが、関係機関の連携はできていない。 4 青少年の保護者だけでなく、地域の住民の意識も高く、問題意識をもつていなさい。		
提案者	母子保健担当者 その他企画分野の保健師		
事業のねらい・目標	1 防止対策として、小学生・中学生に重点をおいた薬物に対する正しい知識の普及を図るために、学校での健康教育の実施等をあげる。現在小学生で3割・中学生で6割の実施内容を整理して、広く教育が実施できるようにプログラムを作成する。 2 プログラムを活用して、住民のボランティアの養成をする。 3 利用者に対して対応するために、関係者のネットワークをつくる。 4 利用者に対して対応するために、関係者のネットワークをつくる。		
数値目標あり	住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める。 住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する。 住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるようになります。		
対象	思春期		
実施期間	平成 14 年 4 月 ~ 平成 16 年 3 月 2 年計画		
事業内容	1 学校において、小学生における健康教育の実施状況と教師の意識調査。 2 10 の実践及び検討委員会(教育関係者・相談機関等)を開いて、CD-ROMに保存して、各学校に配布(※)の作成。 3 プログラムを活用してのボランティア講習会の実施と学校への紹介 4 乱用者対策のについては、関係者とのケース検討を行い、ケースマネジメントについて研修する。		
協力機関	学校 教育委員会 警察 地域のボランティア		
住民参画状況	実施主体側として		
従事者内訳	保健師 痢護教諭 その他(民生委員 保健司 ケースワーカー)		
補助金・助成金	市町村		
事業の評価	1 小学校・中学校での健康教育の実施率(教育長で調査しているので確認する) 2 プログラムCD-ROMの作成。 3 健康教育が実施できるボランティアの数(研修終了者の数) 4 ケース検討会の実施数		
今後も継続する			
今後の課題	ボランティアの実践の活性化		
取り組みの事業に関するホームページ	http://rhino.yamanashi-med.ac.jp/sukiyaka/		
検索キーワード	薬物 健康教育 プログラム作成 教材 ボランティア育成 ケース検討会		
この事業があてはまる項目にチェックを入れて下さい	<input type="checkbox"/> 地域の子育て支援の充実 <input type="checkbox"/> 小児医療の充実 <input type="checkbox"/> 病気や障害のある子どもへの支援 <input type="checkbox"/> 子どもの事故防止 <input type="checkbox"/> 優待の発生予防 <input type="checkbox"/> 思春期における性教育の推進 <input type="checkbox"/> 食育の推進 <input type="checkbox"/> 妊娠中からの母子歯科保健の推進		

団体名	○○県 * * 保健所		
住所	○○県○○市 * * 町 1-2-3		
電話・FAX	(TEL) 012-345-6789 (FAX) 987-654-3210		
E-Mail	hogehoge@hogehope.jp		
ホームページ	http://rhino.yamanashi-med.ac.jp/sukiyaka/		
人口	480,000 人		
出生数	4,000 人		
母子保健担当者	保健師		
金保健師数	21 人		
母子保健担当保健師数	2 人		
区分	都道府県保健所		
事業名	薬物乱用対策～地域における予防・相談・援助のトータルプランの実現を目指して～		
事業課題	思春期の保健対策の強化と健康教育の推進		
事業の背景	1 薬物問題は「第3次覚醒剤乱用期といわれており、青少年の拡大があげられている。 2 薬物問題には、予防対策と乱用者対策の双方からアプローチが必要であり、その対策の体系はできていない。 3 薬物問題はその対応の際、司法・保健・医療など多方面からのアプローチが必要であるが、関係機関の連携はできていない。 4 青少年の保護者だけでなく、地域の住民の意識も高く、問題意識をもつていなさい。		
提案者	母子保健担当者 その他企画分野の保健師		
事業のねらい・目標	1 防止対策として、小学生・中学生に重点をおいた薬物に対する正しい知識の普及を図るために、学校での健康教育の実施等をあげる。現在小学生で3割・中学生で6割の実施内容を整理して、広く教育が実施できるようにプログラムを作成する。 2 プログラムを活用して、住民のボランティアの養成をする。 3 利用者に対して対応するために、関係者のネットワークをつくる。 4 利用者に対して対応するために、関係者のネットワークをつくる。		
数値目標あり	住民が健康に関する知識、技術を身につけ、動機を高める。 住民が健康のために行動できる機会や環境を提供する。 住民が健康のために、より積極的な行動を継続できるようになります。		
対象	思春期		
実施期間	平成 14 年 4 月 ~ 平成 16 年 3 月 2 年計画		
事業内容	1 学校において、小学生における健康教育の実施状況と教師の意識調査。 2 10 の実践及び検討委員会(教育関係者・相談機関等)を開いて、CD-ROMに保存して、各学校に配布(※)の作成。 3 プログラムを活用してのボランティア講習会の実施と学校への紹介 4 乱用者対策のについては、関係者とのケース検討を行い、ケースマネジメントについて研修する。		
協力機関	学校 教育委員会 警察 地域のボランティア		
住民参画状況	実施主体側として		
従事者内訳	保健師 痢護教諭 その他(民生委員 保健司 ケースワーカー)		
補助金・助成金	市町村		
事業の評価	1 小学校・中学校での健康教育の実施率(教育長で調査しているので確認する) 2 プログラムCD-ROMの作成。 3 健康教育が実施できるボランティアの数(研修終了者の数) 4 ケース検討会の実施数		
今後も継続する			
今後の課題	ボランティアの実践の活性化		
取り組みの事業に関するホームページ	http://rhino.yamanashi-med.ac.jp/sukiyaka/		
検索キーワード	薬物 健康教育 プログラム作成 教材 ボランティア育成 ケース検討会		
この事業があてはまる項目にチェックを入れて下さい	<input type="checkbox"/> 地域の子育て支援の充実 <input type="checkbox"/> 小児医療の充実 <input type="checkbox"/> 病気や障害のある子どもへの支援 <input type="checkbox"/> 子どもの事故防止 <input type="checkbox"/> 優待の発生予防 <input type="checkbox"/> 思春期における性教育の推進 <input type="checkbox"/> 食育の推進 <input type="checkbox"/> 妊娠中からの母子歯科保健の推進		

IV. 評価メソバード

セレクト 2006 の選抜およびコメントの作成は、当研究班のメンバー（主任研究者、分担研究者、研究協力者）を中心に行いました。

選抜および評価コメントの作成に関わったメンバーは次のとおりです。

氏名	所属	役職
尾島 俊之	浜松医科大学 養護社会医学	教授
鈴木 孝太	山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座	助手
田中 太一郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座	助手
玉隈 浩司	名古屋大学大学院医学研究科 公衆衛生学	助教授
長瀬 博文	富山県高岡厚生センター射水支所	支所長
仲宗根 正	沖縄県福祉保健部	保健衛生統括監
松浦 賢長	福岡県立大学看護学部 地域・国際看護学講座	教授
薬袋 淳子	国際医療福祉大学 在宅地域ケア研究センター	講師
山縣 然太朗	山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座	教授
山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター 保健室	室長
渡辺 多恵子	常総市水海道保健センター	保健師

【研究班】

平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども)家庭総合研究事業)

研究課題： 健やか親子 21 の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究

課題番号： H16-子ども一般-001

主任研究者： 山縣然太朗 (山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座)

分担研究者： 松浦賢長(福岡県立大学看護学部 地域・国際看護学講座)

山崎嘉久(あいち小児保健医療総合センター)

仲宗根正(沖縄県福祉保健部)

谷原真一(福岡大学医学部 健生学教室)

中村敬(日本子ども家庭総合研究所)

岡村智教(滋賀医科大学 社会医学講座福祉保健医学)

尾島俊之(浜松医科大学 健康社会医学)

岩室伸也(ヘルスプロモーション研究所)

尾崎米厚(鳥取大学医学部 社会医学講座環境予防医学)

福永一郎(保健計画総合研究所)

概本真事(愛媛大学医学部 医療福祉支援センター)

島田美喜(東京慈恵会医科大学医学部 看護学科地域看護学)

三砂ちづる(津田塾大学学芸学部 国際関係学科)

*謝辞 本書作成にあたり、川村由美子氏、鶴宮志乃氏、安達麻衣子氏、川窓ゆう子氏に編集のお手伝いをしていただきました。この場を借りて感謝の意を表します。

都道府県別・事業索引

北海道	札幌市保健福祉局健康衛生部地域保健課	若者の性に関する知識の普及啓発事業	2
岩手県	平泉町保健センター	健康新家庭の体吉日キャンペーン	96
	田野畑村生活福祉課	里春期保健の推進	4
	胆沢町健康福祉課(市町村合併により奥州市胆沢区)	健の健康づくりモデル事業	98
	岩手県盛岡保健所	思春期保健連絡会議(生きいき矢巾こ21(思春期)を考える会)	6
	江刺市健康増進課	思春期セミナー	10
	岩手県紫波町長寿健康課(紫波町保健センター)	子育て支援事業	46
	一関保健センター	産後サポート派遣事業	24
秋田県	秋田県秋田市保健所	若年妊娠婦のつどい	26
山形県	大蔵村住民福祉課	ヘルシーティース事業	102
福島県	会津保健福祉事務所健康福祉グループ	児童家庭支援チーム	54
	飯館村保健福祉課	育児不安を持つ親等へのグループミニーティング事業	28
	天栄村健康福祉課	赤ちゃんふれあい体験学習事業	14
新潟県	糸魚川市健康増進課	祖父母・地域の子育て教室	58
	糸魚川市健康増進課	母乳育児支援事業	60
東京都	大田蒲町行政センター	地域健康課	64
	板橋区保健所健康推進課(板橋・赤塚・志村・高島平健康福祉センター)	女性骨科検診	30
神奈川県	寒川町保健福祉部健康課	マタニティマーク普及事業	32
静岡県	甲州市子育て支援課	妊娠届出時からの母子保健における食育推進事業	104
島根県	島田市健康づくり課	妊娠婦禁煙支援事業	48
福井県	沼津市健康づくり課	妊娠婦口法普及事業	36
愛知県	豊明市健康課(保健センター)	ひまわりひろば	66
三重県	安城市保健センター	マタニティサロン	38

三重県 津市中央保健センター：母子保健推進員活動 ③養成研修・総院研修68

大阪府 大阪府中保健所：未熟児交流会70

大阪府岸和田保健所：～野菜パリィ朝食モリモリ～食育推進プロジェクト108

大阪府池田保健所：食育推進プロジェクト～保育園等における食育支援～112

門真市健脈増進課：保育教室72

兵庫県 兵庫県篠山健康福祉事務所：発達障害者早期支援体制整備事業 発達障害者相談事業74

奈良県 王寺町保健センター：特技がランティア登録・派遣76
御杖村福利社課、御杖村保健センター：子育てがんチャイア78

下市町保健センター(健脈増進課)：壮年期の子育て支援プログラム80

橿原市健脈増進課：両親学級84

東吉野村住民福祉課：子育てサロン86

和歌山県 岩出市役所保健推進課：子育てサークル紹介88

和歌山県紀美野町保健福祉課：絵本を介しての育児支援事業90

広島県 福山市保健所 食脈推進課：福山市すこやか育児サポート事業40

福岡県 福岡県保健福祉部子育て支援課：健やか親子フォーラム(福岡県母子保健大会)18
福岡県保健福祉部子育て支援課：たばこ知らずのヤングセミナー事業20

長崎県 長崎市地域保健課：妊娠婦歯科保健指導事業42

熊本県 熊本県水俣保健所：子どもの食育／マートナーシップ事業114

大分県 佐伯市武川振興局：親子の集い92

鹿児島県 料油町子育て支援課：障害児療育等啓発販促事業50

「健やか親子 21」公式ホームページ
<http://rhino.med.yamanashi.ac.jp/sukoyaka/>

「取り組みのデータベース」優秀事業セレクト 2006

発行日 平成 19 年 3 月
編集 発行 山縣然太朗
(山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座)
平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)
「健やか親子 21 の推進のための情報システム構築および
各種情報の利活用に関する研究」研究班

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110
山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座
電話 055-273-9666 FAX 055-273-7882
E-mail boshidate@med.yamanashi.ac.jp

厚生労働科学研究費補助金
子ども家庭総合研究事業

「健やか親子 21 の推進のための情報システム構築
および各種情報の利活用に関する研究」

平成 16～18 年度 総合研究报告書

発行日 平成 19 年（2007）年 3 月

編集・発行 山縣然太朗（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）

「健やか親子 21 の推進のための情報システム構築
および各種情報の利活用に関する研究」班

班 長 山縣 然太朗
〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110
山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座
TEL : 055-273-9566 FAX : 055-273-7882
E-Mail : boshidat@med.yamanashi.ac.jp

印 刷 株式会社 内田印刷所
〒400-0032 山梨県甲府市中央二丁目 10-18
TEL : 055-233-0188 FAX : 055-233-0180